

2025年4月20日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28:19-20)

復活節第1主日

イースター

朝第1礼拝 9:00~10:10
朝第2礼拝 10:30~12:00
＜神の招き＞
前 奏 ①輝きのこの日 バッハ
②キリストは復活された バッハ
招きの詞 ヨハネによる福音書 11:25~26
交読詩編 30:1~6
讃美歌 326
＜神の言葉＞
聖 書 詩編 66:1~9
(旧約 聖書協会共同訳 880 頁)
マタイによる福音書 28:1~10
(新約 聖書協会共同訳 58 頁)
祈 禱
転入会式②
讃美歌 56
奉 唱② 331
説 教 「キリストの復活」 熊江秀一牧師
祈 禱
黙 想
讃美歌 327
聖 餐
讃美歌 81
＜神への応答＞
信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白
献 金
主の祈り
宣教報告②
頌 栄 28
派遣と祝福
後 奏 ①キリストは死の絆につき給いしが バッハ
②輝きのこの日 バッハ
宣教報告①

夕 礼 拝 18:00~19:10 司式 熊江秀一牧師
＜神の招き＞
前 奏 キリストは死の絆につき給いしが バッハ
招きの詞 ヨハネによる福音書 11:25~26
交読詩編 30:1~6
讃美歌 17
＜神の言葉＞
聖 書 詩編 78:1~8
(旧約 聖書協会共同訳 896 頁)
ルカによる福音書 1:1~4
(新約 聖書協会共同訳 98 頁)
祈 禱
讃美歌 325
説 教 「わたしたちの間で実現した事柄」 佐藤潤伝道師
祈 禱
黙 想
讃美歌 510
聖 餐
讃美歌 81
＜神への応答＞
信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白
献 金
主の祈り
宣教報告
頌 栄 28
派遣と祝福
後 奏 キリストは死の絆につき給いしが クレプス

今週の御言葉
(マタイによる福音書 28:9)
すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、女たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。

次週の礼拝(4月27日)

① 9:00、② 10:30
説教「恵みと平和」佐藤潤伝道師
民数記 6:22~27、エフェソ
の信徒への手紙 1:1~2 交
読詩編 16:5~11 讃美歌 5
1、419、390、28

ワーシップ(賛美礼拝)
14:00 説教「同行の旅
人」熊江秀一牧師 ルカに
よる福音書 24:30-35
賛美:主はわれらの太陽他

サテライトチャーチ植竹礼拝
10:30、 18:00
説教「復活の主に出会って」
熊江秀一牧師 詩編 16:5~11、マ
タイによる福音書 28:11~20 交
読詩編 16:5~11 讃美歌 13、5
6、323、28

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. イースターの恵みに感謝して
4. 埼玉地区・関東教区の為に
5. 東京神学大学の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄姉の為に

*関東教区お祈りカレンダー 共愛学園中学校・高等学校 共愛学園小学校 共愛学園こども園

◇先週の説教より「主の十字架による救い」ゼカリヤ書9：9～10、マタイによる福音書27：45～56 熊江秀一牧師

棕櫚の主日に主イエスの十字架の死の場面が与えられた。主は十字架の上で「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」と叫ばれた。この叫びを思う時、神の御子にあの叫びをさせた自分の罪の重さを感じる。本当ならば罪の報いとして、私たちがあの絶叫をしなければならなかった。それを主は私たちに代わって叫ばれた。さらに忘れてはならないことは主にあの叫びをさせている神の行為である。神は主イエスを見捨てられた。それは言い換えれば、私たちが神に見捨てられるしかないということである。神の怒り、それが主の十字架である。私たちが味わうべき神の怒りを、主イエスが身に受けて下さった。この時、神の御子はその権威を捨てて十字架の苦難を受けた。もし主イエスが、神の権威を持って自ら十字架を下り、エリヤや天の軍勢を引き連れて人々の前に立たれたとしたらどうなったであろう。

私たちは滅ぶしかない。しかし主はそうされなかった。主は神の怒りをその身に受けて下さった。この主の十字架上の叫びは詩編22編の実現であった。また十字架のお姿はイザヤ書53章の実現であった。主が神の怒りと苦難を受け、命を捨てられたことで、私たちに救いが与えられた。主の十字架は旧約聖書に預言された、苦難の僕による神の救いの実現である。主イエスが息を引き取った時、神殿の垂れ幕が裂けた。これは神と人とをさえぎる隔てが、主の死によって取り除かれ、神と人がつながる新しい時代が始まったことを示す。またその時、死も取り除かれた。この時、百人隊長は「まことに、この人は神の子であった」と告白する者となった。私たちもイエスを神の子、救い主と告白し、十字架の主をお迎えして受難週を歩もう。